

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	32	主治医での対応でもあることから緊急時の対応がスムーズにいかない。	今後医療機関との連携が図れるように協力医療機関の検討をお願いをしていくことで医療との連携を図る。	地域医療機関との話試合の場を設けていく。 状況によっては訪問診療などの検討をしていく。	6ヶ月
2	33	重度化、終末期に向けての方針の共有。	本人の現在の健康状態の把握と個々の移乗の早期発見に努めることで重症化を防ぐ。	・毎日のバイタルサイン測定の継続、入浴時の全身チェック ・本人との会話の中から状態の変化のサインを見逃さないようにする。	6ヶ月
3	38	その人らしい暮らしをしていけるように調整していく。	個々の生活スタイルができるように支援していく。	入居前の生活歴や好みなどを取り入れていけるように職員間で情報の共有をしながら対応している。	6ヶ月
4	19	コロナ禍の為家族との関係調整がうまくいかない。	現在コロナ禍の為、面会制限、外出等が出来ない為、施設内での状況を書面、電話、メール等で家族に理解して頂く。	・広報紙「きぬの里だより」を毎月送付の継続。 ・面会制限内で出来る限り家族と時間を作れるように配慮している。(短時間での面会、窓越しでの面会など) ・メールや電話で近況の報告をしていく。	6ヶ月
5					ヶ月